

**厚生労働科学研究費補助金（医療技術実用化総合研究事業）
（分担）研究報告書**

症候性脳放射線壊死に対する核医学的診断とベバシズマブの静脈内投与による治療
研究分担者 露口尚弘 大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科 准教授

研究要旨

脳腫瘍患者に対する放射線治療後に生じた症候性脳放射線壊死に対して抗 VEGF 抗体であるベバシズマブの投与を行い、その有効性と安全性を検証する多施設間共同研究に参加した。

A．研究目的

脳腫瘍放射線治療後に生じた症候性脳放射線壊死の治療におけるベバシズマブの臨床効果を検証する。

B．研究方法

大阪医大を中心とする多施設間共同研究体制に入り、策定されたプロトコールに乗っ取り、同意を得た患者にベバシズマブによる治療を施行し、患者のフォローアップを行う。

（倫理面への配慮）

臨床研究プロトコールは大阪市立大学医学部附属病院の倫理委員会によって審議され承認済みである。患者には十分な説明を行い、同意を書面で得た後に研究参加していただく。

C．研究結果

適当な症例がなく登録出来なかった。診断の一方法であるMethionine-PETでの新しい知見を得た。異なるPET装置においても腫瘍と放射線壊死の診断基準に差はないことが判明した。

D．考察

各施設間でのPET検査の信頼性が確かめられた。

E．結論

プロトコールを順守し、症例登録に協力していく。

F．健康危険情報

総括研究報告書参照

G．研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

（国内学会）

1. 露口尚弘、寺川雄三、佐藤英俊、宇田武弘、阿部純也、石橋謙一、永田 崇、大畑建治

我々の施設におけるawake surgeryの経験と問題点にたいする検討
第12回Awake Surgery学会
2014/9/10 東京

2. 露口尚弘、寺川雄三、佐藤英俊、宇田武弘、阿部純也、石橋謙一、永田 崇、大畑建治

我々の施設におけるawake surgeryの経験と問題点にたいする検討
第73回日本脳神経外科学会学術総会
2014/10/09-11 東京

3. 露口尚弘

頭蓋内疾患の核医学における最近の話題
-PETを中心に- 第58回群馬県核医学研究会
2014/11/01 群馬

4. 露口尚弘、東山滋明、佐藤英俊、塩見進、大畑建治

脳腫瘍における奇異性Methionine集積
第54回日本核医学会学術大会
2014/11/06-08 大阪

H．知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3.その他

特記事項なし